

無痛分娩時の看護手順（一部抜粋）*予定無痛分娩の場合

妊娠中

- ・無痛分娩希望がある場合は妊娠 30 週までに申し出て、計画分娩日を設定する。
- ・無痛分娩希望者は妊娠 30 週～35 週くらいまでに麻酔科の外来を受診する。

無痛分娩前日

- ・確認事項（採血結果、麻酔・無痛分娩・誘発分娩同意書）
- ・無痛分娩オリエンテーション
- ・患者の準備（末梢ライン確保、バイタルサイン、児の状態確認）
- ・前処置（子宮口の熟化状態確認、場合によりラミナリア、メトロイリントルの挿入）

無痛分娩当日

- ・確認事項（採血結果、麻酔・無痛分娩・誘発分娩同意書、児の状態、最終食事時間）
- ・陣痛室へ朝移動
- ・準備物品（輸液ポンプ、点滴棒、生体監視モニター、CTG モニター、CADD ポンプ、麻酔カート、救急カート、
キャスター付き椅子、ガウン、滅菌手袋、帽子）
- ・薬剤準備

無痛分娩導入決定後

- ・手術申し込みを行う
- ・薬剤の調剤

無痛分娩導入

- ・ブリーフィング（患者確認、患者同意確認、処置内容確認、部位確認、時間）
- ・硬膜外挿入の介助（滅菌物の開封、患者の体位調整、カテーテルの固定）
- ・バイタルサイン、CTG所見を確認
- ・デブリーフィング（実施内容、カテーテル挿入位置、注意点）

無痛分娩中

- ・バイタルサイン（適宜血圧、心拍、呼吸数、体温、サチュレーションは持続装着）
- ・観察項目（CTG、内診、疼痛の程度や部位の変化、その他分娩進行に伴う所見、カテーテル固定部分の観察、
下肢の近く鈍麻の程度、下肢可動性、麻酔の副作用）
- ・歩行制限（麻酔開始後は転倒防止のため原則禁止）
- ・食事（絶食、飲水可：ただし麻酔導入時、子宮口全開後は絶飲食）
- ・排泄（3 時間毎に適宜導尿）
- ・分娩進行のためのケア（分娩体位、努責時の助言等）

分娩終了後

- ・分娩終了時点で CADD ポンプを停止する
- ・出血量確認
- ・創部縫合後、清拭・更衣
- ・翌日産科医の診察にて末梢ルート・硬膜外カテーテルを抜去
- ・麻酔科医の術後回診